

## 『東京オリンピック』



いよいよ東京オリンピックの開幕が目前に近づいてきました。

7月10日の時点で、コロナ感染状況を反映する実行再生産数は東京都で1.19であり感染が再拡大しつつある現状において、オリンピックの開催についてはさまざまなご意見があると思います。

また原則として無観客開催となりました。

この件についても賛否あるところでしょうが医学的には妥当な措置であらうかと思えます。

ただその決定の直前には理化学件所のスーパーコンピューター「富岳」を使った飛沫感染のシミュレーションを用いて、国立競技場において、マスクを着用した観客1万人が協議を4時間感染した場合の感染リスクは最悪のケースでも5人以下と発表されました。

その後の5者協議の結果、無観客開催となりましたが、何やら恣意的な匂いを感じます。

海外から多数の関係者が来日するオリンピックは感染拡大リスクは極めて大きいように想像しますが、水際対策や検査態勢を再度徹底していただき、杞憂に終わるようお願いばかりです。

ともあれオリンピックが挙行される以上は出場選手を応援したいと思いますし、テレビ観戦を楽しみにしています。

今大会は新種目として空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの4競技が追加されました。また2008年北京五輪以後含まれていなかった野球も今回は復活しました。

いずれもメダルが期待できる競技であり楽しみであります。ちなみに次回のパリ大会ではなんとブレイクダンスが追加されることが決定されているそうです。なんだかオリンピックのイメージも変わってきたと感じるのは私だけでしょうか？

オリンピックは結果がすべてではないでしょうが、出場選手は皆人生をかけて戦っています。やはり日本人選手がメダルを獲得すれば感動し、嬉しい気持ちになるのは皆さんも同じであると思えます。

日本オリンピック委員会が掲げる金メダルの目標数は、16個を獲得した57年前の東京五輪の約2倍に相当する30個だそうです。これまで日本がメダルを最も多く獲得したのは2016年リオデジャネイロ五輪の41個(金12, 銀8, 銅21)。また金メダルを最も多く獲得したのは1964年東京五輪と2004年アテネ五輪の16個でした。期待を持って注目したいと思います。

特に期待しているのは個人的には柔道です。

お家芸の柔道は前回のリオ五輪では男子全階級メダル獲得という偉業を達成しましたが、今回はコロナ禍による練習不足が顕著であり正直不安が大きいところです。

競技は開幕直後に始まるので、出場選手達には頑張ってくださいと期待しています。

